

2023年11月1日

BEGJ\_2023\_01

### Mass-Trans Innovation JAPAN 2023

#### 第8回鉄道技術展

#### 自動車向けセンサー技術を鉄道に応用

- ▶ 路面電車向け衝突警報システム
- ▶ 鉄道向け自動化ソリューション（鉄道向け環境認識技術）
- ▶ 鉄道向け水素エンジンプロジェクトのご紹介（スライド紹介）
- ▶ ボッシュエンジニアリングブース：B-54（北口7番付近）
- ▶ 展示会公式サイトにて、展示内容を掲載

[https://f-vr.jp/mtij/enq/show1/registration\\_2023/detail.cgi?id=305](https://f-vr.jp/mtij/enq/show1/registration_2023/detail.cgi?id=305)

横浜ーグローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるボッシュの100%子会社ボッシュエンジニアリング株式会社（神奈川県横浜市、以下ボッシュエンジニアリング）は、幕張メッセで開催されるMass-Trans Innovation Japan 2023 第8回鉄道技術展（2023年11月8日（水）～11月10日（金））において、自動車向けセンサー技術を鉄道に応用したシステムおよびソリューションを展示します。ボッシュエンジニアリングのブースは、B-54です。

ボッシュエンジニアリングは、自動車業界で実績のあるボッシュ製品とノウハウを応用し、レーダー・カメラシステムを用いた路面電車向け衝突警報システムを展示するほか、車載センサー技術を応用した鉄道向け自動化ソリューションをご紹介します。

また、特設会場で行われるステージプレゼンテーションでは「鉄道向けフロントアシスト（前方監視技術）」についてご説明いたします。

#### **ステージプレゼンテーション詳細**

日時: 11月8日（水） 11:00-11:30

場所: 8ホール内特設会場（オープンスタイル）

内容: ボッシュエンジニアリングと鉄道事業部

路面電車・LRT向け運転士支援システム（国外の公共交通にて導入済み）

鉄道分野における自動運転の課題とボッシュのフロントアシスト開発ロードマップ

## 問合せ窓口：

メール：engineering@jp.bosch.com

### ボッシュエンジニアリング概要

Bosch Engineering GmbHは、ロバート・ボッシュ GmbHの100%子会社で、本社はドイツ/アプシュタットに置かれています。Bosch Engineeringは生産規模の大小に限らず、1999年から乗用車、商用車、建設機械/農業機械、鉄道車両/産業/船舶用途、レジャービークル向けのエンジニアリングサービスを提供しています。Bosch Engineeringの包括的なサービス範囲は、パワートレイン、セーフティ/コンフォートシステム、コンポーネントの電気/エレクトロニクスの統合が含まれます。Bosch Engineeringは、ボッシュ・グループ関連の全モータースポーツ事業にも貢献しています。日本のボッシュエンジニアリングは、ボッシュの100%子会社で、本社は横浜に置かれています。ドイツ本社同様、幅広い分野においてサービスを提供しています。

さらに詳しい情報については [www.bosch-engineering.com](http://www.bosch-engineering.com) [www.bosch-engineering.jp](http://www.bosch-engineering.jp) をご覧ください。

### 日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2022年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約3,400億円で、従業員数は約6,250人です。

### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2022年の従業員数は約42.1万人（2022年12月31日現在）、売上高は882億ユーロ（約12.2兆円\*）を計上しています。現在、事業はモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI（人工知能）を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである

「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbHとその子会社470社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュは2020年第一四半期に、世界400超の拠点をカーボンニュートラルを達成しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界136の拠点を約8万5,500人の従業員が研究開発に、そのうち約4.4万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

\*2022年の為替平均レート、1ユーロ = 137.9900円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英語）

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス（英語）

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア公式ツイッター（ドイツ語）